

# 2025年度卒業生進路一覧

2026年3月31日現在

5期生	大学 (短大含)	日本経済大学 経営学部経営学科	1
		亜細亜大学 国際関係学部 国際関係学科	1
		第一工科大学 工学部 情報・AI・データサイエンス学科	1
		鎮西学院大学 経済政策学科	1
		九州産業大学造形短期大学部 造形芸術学科	1
		公立鳥取環境大学 経営学科	1
		武蔵野大学 経済学部 経済学科	1
		鎮西学院大学 多文化コミュニケーション学科	2
	専門学校	大阪コミュニティワーカー専門学校 コミュニティケア科	2
		東京国際ビジネスカレッジ福岡校 ビジネス通訳コース	3
		小林看護医療専門学校 看護学科	1
		麻生情報ビジネス専門学校 国際ビジネス科	1
		九州工科自動車専門学校 国際自動車科	1
		CODO外語観光専門学校 国際観光ビジネスコース	1
		宮崎情報ビジネス専門学校 国際ビジネス科	2
		東京国際ビジネスカレッジ福岡校 国際貿易コース	1
		早稲田文理専門学校 電気機器組込みソフトウェア学科	1
		九州英数学館 大学進学科	6
		専門学校福岡デザイナーアカデミー イラストレーション学科	1
		福岡調理師専門学校 調理師高度技術科	1
		専門学校福岡デザイナーアカデミー アニメーション学科	1
	就職	SERENDIP HOTEL GOTO	1
		あたご自動車学校	1
		株域会社 浜口水産	1
		グローバルエッジキャリアーズ株式会社	1
		株式会社 ハイデイ日高	1
		株式会社 海星ムサシ	1
		株式会社 魁力屋	1
		社会福祉法人秀峰会	1
		M.T奈多ケア院	1
		炭火焼肉七輪亭	1
		株式会社レジャークリエイティブホールディングス	1
		医療法人社団医誠会	1
その他	帰国他	4	
		47	

## JLPT取得状況（2026年3月現在）

	2024年度4月期生	2025年度4月期生
N1	3	1
N2	25	12
N3	14	17
N4	0	2
N5	0	3

## 課程修了者の日本語能力習得状況等

作成年月日：2026年6月12日

日本語教育機関名：五島日本語学校

設置者名：学校法人 九州総合学院

課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
第44号：大学等への進学者、入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格（外交・公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者及び「日本語教育の参照枠」のA2相当以上と認められる者の合計が、課程修了の認定を受けた者の7割以上	○

基準該当者割合 ②÷(①+③)	100.0%
課程修了者数(※1、※2) ①	47
基準該当者合計数(実人数) ②	49

左記「基準該当者合計数(実人数)」のうち退学者数(44号ただし書き) ③	2
--------------------------------------	---

※1 退学者は含めない。

※2 各年度の課程修了の認定を受けた者が、その修了日までに入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への在留資格変更許可申請をした場合において、当該申請に対する処分が、この号に基づく地方出入国在留管理局への報告までになされないときは、当該者を分母となる課程修了認定者の数に該当する者として加える必要はない。

## 基準該当者の各内訳

基準該当者の各内訳		日本語科進学 2年コース			
※該当する要件が二以上ある生徒は、a～cのそれぞれに計上可。ただし、「基準該当者合計数(上記②)」は実人数を算出するため、当該生徒について重複を除き、一人として扱うこと。	a. 大学等への進学者の数 ※我が国での進学に限り、非正規生は除く。	31			
	b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者の数	6			
	c. 「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数 ※法務省HPに掲載された試験又は日本留学試験に限る。	42			

※「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者(C)については、「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることを証明するための書類（試験の合格証等）の写しを本報告書と併せて提出すること。

## 基準該当者合計数(②)及び内訳(a～cのそれぞれの合計)の公表の方法

五島日本語学校ホームページにて公表